

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立緑台小学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができている。 必要なことを意識しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることが概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 学年別漢字配当表に表示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の数を使って書くことができている。 正方形の意味や性質について理解することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正三角形の意味や性質について理解していること。 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を説明すること。 百分率で表された割合について理解していること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 朝食をしっかりと食べ、決まった時刻に起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 いじめは、どんな理由があってもいけないと考える児童が多い。 PC、タブレットなどのICT機器を活用し、勉強の役に立つと考える児童が多い。 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや不安があるときに、先生や大人にいつでも相談できること。 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うこと。 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

・モジュール時間などを活用して、自分で計画を立て、自分で考えて学習に取り組む姿勢を身に付けられるよう指導するとともに、家庭学習においても同様の取組ができるように促し、予習・復習を習慣化できるように支援していく。
 ・文章を読んで要約したり、それに対する自分の意見を書いたりするような学習に取り組んでいく。
 ・カリキュラムマネジメントを意識し、総合的な学習の時間と他教科との関連を図り、児童の主体性や興味・関心を生かした学習を展開するため、校内研究を推進していく。
 ・情報モラル指導のさらなる充実を図るとともに、ICT機器を生かした授業を工夫していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・日頃より規則正しい生活習慣の確立にご協力いただき、ありがとうございます。朝食を毎日食べている児童が多く、学校生活を送る上で欠かせないものです。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。
 ・学校では、マイプランの実施により、主体性と基礎学力の定着を目指し取り組んでいます。児童も、やり方にどんどん慣れ、進んで取り組む姿勢が見られています。しかし、基礎学力の定着のためには、家庭学習も大切です。学校での学びを生かし、自発的に取り組むことでさらにその成果に違いが出ます。家庭でもぜひ自分で計画を立て予習・復習に取り組めるよう声かけやご協力をお願いいたします。
 ・児童は、学校でICT機器を使いこなし、学習に役立てています。学習以外では、オンラインゲームやSNS、インターネット等利用のルールやマナーの指導とセキュリティー対策がトラブル未然防止のために重要です。学校で情報モラル指導をしていますが、ご家庭でもルールやマナーの徹底をお願いいたします。
 ・読書や本に親しむ時間が少ない傾向があります。多くの本に触れ、豊かな人間性を育ててほしいと思います。